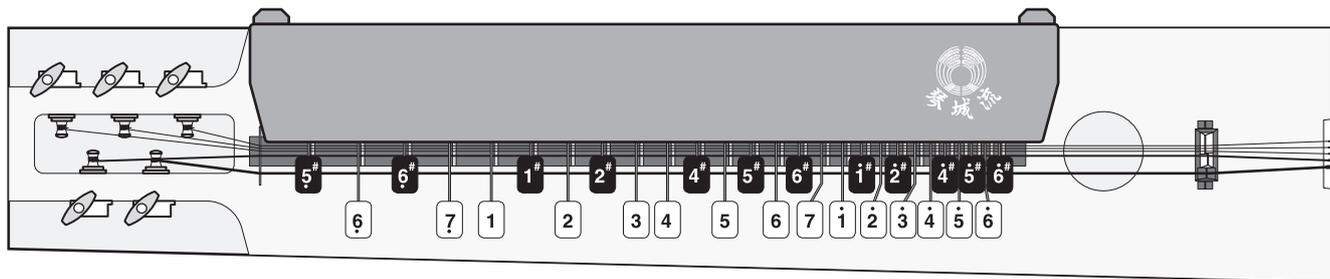


# 琴城流大正琴

## 瑞穂

み ず ほ



### 取扱説明書

このたびは琴城流大正琴「瑞穂」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品を末永く、そして安全にご使用いただくため、この取扱説明書をよくお読みください。お読みになった取扱説明書は、なくさないように大切に保管してください。

# 使用上のご注意



## ● 湿気は大敵です

風呂場など水分や湿気の多い場所では、絶対に使用・保管しないでください。故障や破損の原因になります。



## ● 熱くなる場所を避けてください

自動車の中や暖房器具のすぐ近くなど、極端に熱くなる場所での使用・保管は避けてください。故障や破損の原因になります。



## ● ホコリっぽい場所は避けてください

ホコリの多いところでの使用・保管は避けてください。故障や破損の原因になります。



## ● 衝撃を与えないでください

楽器をぶついたり落としたりしないでください。製品に傷を付けるだけでなく、故障の原因になります。



## ● 不安定な場所におかないでください

楽器を不安定な場所に置かないでください。落下して思わぬけがをする恐れがあります。



## ● 調絃時は顔を遠ざけてください

絃の張り替えや調絃のときは楽器に顔を近づけすぎないようにしてください。万が一絃が切れますと、顔や目を傷つける恐れがあり危険です。



- 絃で手を傷つけないようにしてください  
調絃や張り替え・お手入れのとき、絃の先端で手や指などを傷つけないように気をつけてください。



- お手入れは柔らかい布を使用してください  
お手入れは柔らかい布でカラ拭きしてください。アルコール・シンナー・ベンジン等は製品を痛めますので絶対に使用しないでください。



## 目次

使用上のご注意……………1～2

1 琴城流大正琴「瑞穂」の特徴…3

2 仕様……………4

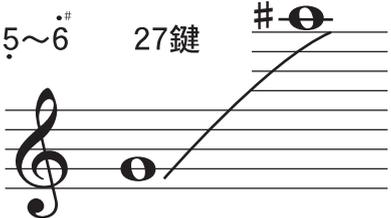
3 各部の名称……………5

4 調 絃……………5～6

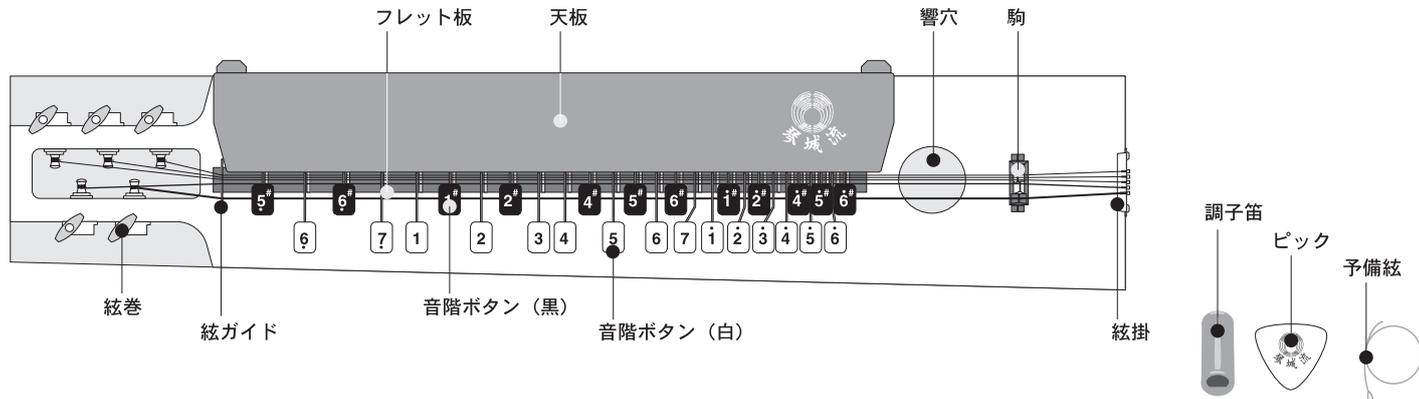
## 琴城流大正琴「瑞穂」の特徴

- 絃楽器に求められる最高の材質（スプルース／ローズウッド）を厳選して使用しました。
- 絃の間隔を狭くすることにより、繊細で美しい響きを得ることができました。
- 小さいゲージ(太さ)の絃を採用することにより、音切れが良く幅広い音楽表現が可能になりました。
- 牛骨＋黒檀の駒により、音響損失が少なく鮮明な響きを得ることができます。
- 高精度の絃巻によりスムーズで緩みの少ない調絃が可能になりました。
- 外観は、美しく傷がつきにくい硬質塗幕・磨き仕上げです。

# 仕様

音域	絃	材質・内容	付属品
 <p>5~6<sup>#</sup> 27鍵</p> <p>上図は第一～第三絃までの音域です。 第四絃・第五絃は1オクターブ低くなります。</p>	<p>第一絃 } 共通            第二絃 }            第三絃 }            細線 0.2mm            第四絃            細巻線 0.47mm            第五絃            太巻線 0.72mm            絃長 511mm</p>	<p>表板：スプルース A級            裏板：ローズウッド            梓木：ローズウッド            天板：ローズウッド            駒：牛骨・黒檀            鍵盤：角型            寸法：14×72×8cm            重量：1.7kg</p>	<p>ピック            調子笛            細巻線            細線            ケース            セルベット            取扱説明書            保証書</p>

# 各部の名称



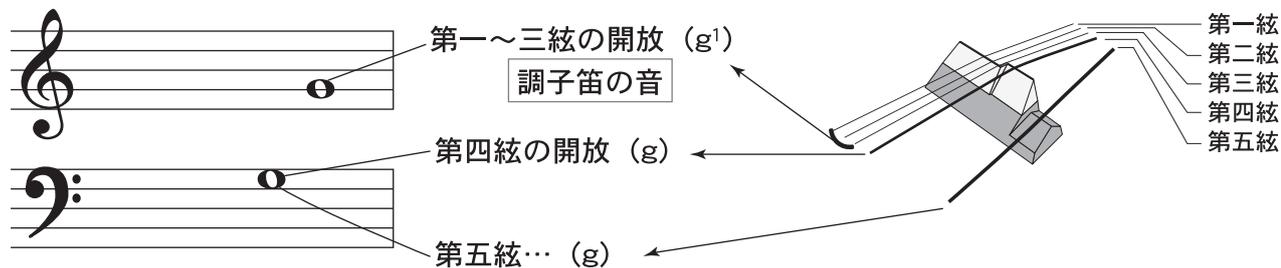
## 調 絃

演奏前に付属品の調子笛で調絃します。調子笛の音は  (ソ、 $g^1$ ) の音になっています。

また、別売の大正琴専用チューナーST-300sを使用しますと、調絃が楽に行えます。

調絃の手順…調絃は各絃とも全て開放（ボタンを押さえない）状態で行います。

- (1) 付属品の調子笛を口にあて軽く息を吹き込み、音を出してみましょう。
- (2) 絃巻は、時計周りに回すと音程が上り、反時計周りに回すと下ります。
- (3) 右手でピックを持ち、調子笛の音をききながら第一絃を「ピン、ピン…」とはじき絃の音と調子笛の音が合うよう、絃巻を回し調絃します。
- (4) 第二絃、第三絃は (3) で調絃した第一絃の音と同じように調絃します。
- (5) 第四絃、第五絃は、第一、二、三絃より1オクターブ（8度）低く合せます。



#### ご注意

- ①絃は張っておくと、わずかに伸びて音程が低くなりがちです。当社では調絃済の状態でお届けしていますが、演奏の前には、音程を確認し、再調絃をしてください。
- ②絃は消耗品です。錆びたり伸びきったり、また切れかかっていると、音程が狂い、音色・音量も悪くなります。そのときは早めに取り替えてください。替え絃のご注文は大正琴の機種名と第何絃かを指示願います。

発売元 **株式会社 鈴木音楽産業**

〒430-0815 静岡県浜松市中央区都盛町157-1

☎(053)464-6512



**琴城流 大正琴振興会**

製造元 **株式会社 鈴木楽器製作所**

〒430-0852 静岡県浜松市中央区領家2-25-7 ☎(053)461-2325